

2025 年度 第 1 回 地域連携推進会議 議事録

- 日時 : 令和 8 年 2 月 22 日(日) 14:15～15:30
- 場所 : つるかわ学園 1 階地域交流談話室
- 出席者 : 地域の関係者 9 名 (町内会長、町内会 7 名、町田市消防団 1 名)
利用者 2 名
利用者家族 1 名
つるかわ学園職員 6 名 (施設長、サービス管理責任者、職員 4 名)

【懇談会・次第】

1. 開会挨拶

2. 自己紹介／合同防災訓練 振り返り (意見・感想)

同日に町内会との合同防災訓練 (町内会、消防署、消防団の協力のもと、避難訓練、起震車、初期消火訓練) を実施したため、訓練の振り返りを実施した。

地域住民、消防団、利用者家族、利用者、職員から幅広い意見や感想が寄せられ、訓練自体は落ち着いて実施されていたが、避難誘導には地域の理解と協力が欠かせないこと、そして実際の災害を想定した体制づくりの重要性が改めて共有された。

3. 法人、事業所の概要について

法人の要覧、事業所のパンフレットを基に説明
虐待防止、権利擁護の取り組みについて説明

4. 議事

○地域連携の各テーマについての説明、共有、意見交換

1) 地域連携推進会議の趣旨説明等

- ・地域連携推進会議指針に基づき、会議の目的等説明

2) 地域協働等について

- ・合同防災訓練の継続、地域行事への参加・交流について
- ・利用者・家族・施設が地域とつながる機会づくり
- ・地域と施設が継続的に協働し、利用者の安全と生活の質を高める
- ・BCP (事業継続計画) の説明、共有

計画を職員全員で共有し、定期的に見直ししながら、実際に使える形で運用。また、地震や土砂災害などの自然災害に備えて、備蓄品の確保や定期的な避難訓練を行い、すぐに行動できる体制を整えることの重要性を共有した。

5. 閉会挨拶

地域連携推進会議としての取り組みを継続するため、来年度も同じ時期に本会議を開催する予定である旨、報告し共有した。地域、利用者、利用者家族、施設が顔の見える関係を続けていくことが、生活への安心と日常の支えにつながると考えている旨お伝えし、閉会。

※施設内の見学案内を実施。